

報道関係者各位

「働きがいがある会社ランキング」ベストカンパニー6年連続受賞 組織風土が会社を強くする

Great Place to Work®が実施する2019年版「働きがいのある会社」ランキングにおいて、不動産の販売、設計・建築を手がけるTOKYO BIG HOUSE株式会社（本社：東京都新宿区、代表：菊田寛康）は、6年連続でのベストカンパニー受賞となりました。

<https://hatarakigai.info/ranking/japan/2019.html>

**本年は、初めて中規模部門でのエントリーとなり、
不動産業では、部門トップとなりました。**

小規模部門（従業員数25～99人） 中規模部門（従業員数100～999人）

2014年 3位

2019年 15位

2015年 2位

2016年 4位

2017年 6位

2018年 4位



2018年授賞式の様子

Great Place to Work®とは

「働きがい」に関する調査・分析を行い、一定の水準に達していると認められた会社や組織を各国の有力なメディアで発表する活動を世界約60カ国で実施している専門機関です。30年以上にわたる調査・研究により、従業員と会社の2つの視点から、働きがいのある会社とは「従業員が勤務する会社や経営者・管理者を信頼し、自分の仕事に誇りを持ち、一緒に働いている人たちとの連帯感が持てる会社」と定義づけています。

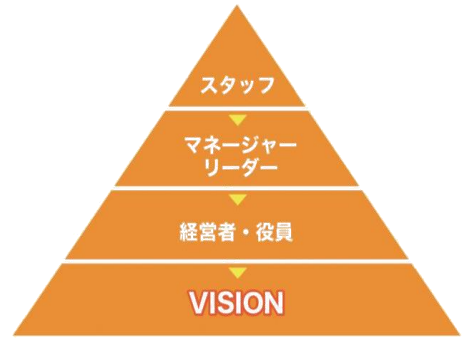
TOKYO BIG HOUSEが考える「働きがい」とは

「こんな人生があるとは思わなかった！」という驚きと感動を提供するために、全力を尽くすことに全社員がコミットしています。それはお客様だけではなく、一緒に働くスタッフ同士にも向けられており、働きがいとは自ら考え行動し、誰かに貢献することで自然と生まれるものだと考えます。

働きがいが生まれる秘訣の一つは、社員の可能性を広げる組織風土です。社員自身も気づいていない自らの可能性に、全社員が多方面から関わることで、大きな成長を実現できる環境をつくりだしています。

組織風土① 「降りる組織図」

会社の組織図は「降りる役職図」となっており、逆ピラミッドで形成されています。リーダーになっていく人ほど自分自身の器を大きくし、組織の仲間を支えていくことを目指します。「尊敬されるのは、大きな器を持つ人」という考えから、責任を担う人ほど降りて人を支えることが求められ、最も人を支えることができる人、それが私たち組織の尊敬される姿と位置付けられています。



組織風土② 「個人よりもチーム」

個人プレイよりもチームで協力することを推奨しています。それが結果的に、個人ではつくりができなかった成果以上の結果をつくり、チームや会社への誇りや団結力を生みます。ひとりでは成しえなかった成果がたくさん積み重なり、組織を強く大きくしていくと考えています。



組織風土③ 「シェアタイム」

「一緒に働く仲間は、どんな想いで働く人なのか？」や日々の業務でどんなことが起きて、なにを感じたかを知ることに関わり合いが生まれます。業務上の共有だけでなく、その人自身の想いも尊重しあいます。お互いの想いをぶつけ合うことで、気づきが成長に繋がり、生産性を高めていきます。



【企業情報】

会社名：TOKYO BIG HOUSE株式会社

事業内容：不動産の売買/建築物の企画設計・デザイン・リノベーション・建設/市場調査及び販売企画/投資コンサルティング等

創業：2007年8月

資本金：3000万円

代表者：代表取締役社長 菊田寛康

所在地：東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー41F

従業員数：120名

コーポレートサイト：<https://www.tokyobighouse.com/>

お問合せ先

TOKYO BIG HOUSE株式会社
広報ブランディングチーム 宮本

TEL:03-6896-1410

E-mail：pr@tokyobighouse.com